

上海市養老施設の品質検査

設備基準等審査
優秀施設は表彰

先月29日に上海市民政局は、上海市各区民政局・社会福利センター・同仁慈善サービスセンター

・福利業界協会へ「養老施設サービス品質建設専門検査実施に関する通知」を傳達しました。検査は専門チームによって行われます。

9月の検査対象となった施設数は、上海市内全施設の14・2%にあたる100施設でした。全国養老施設業務管理システムにおいて安全審査上問題のあった施設や事故クレーム等が多かった施設から順番に実施されました。

た（二級福利院と三級養老院、長者の家は対象外です）。各区別でみると、弊社の所在区である浦東新区が19件と広範囲なだけに最も多い区となっています。

検査内容は日本と同様、運営上における人員配置や設備基準、契約内容や自費取扱い等、全54項目あります。養老施設の更なる発展に向けた基盤構築を目的としており、問題点がある場合、区民政部门はその施設の、措置・対策を行い、サービス品質向上のための要点を検出します。

検査の結果、優秀な施設は表彰され、深刻な違反をしている施設は公表

入居者の転落事故

されるそうです。

国内施設における事故事例を見てみると、昨年12月には四川省で入所者の転落による事故死がありました。誰でも簡単に窓から出られる環境で、施設や職員員の経験不足

で入所判定を誤ってしまったが故の事故だった上に、契約未締結だったために、保険適用外でした。また今年2月には安徽省で施設の火災により入所者が窒息死。居室のコントロールボタンが故障していたために起こってしまっ

た事故だと判明しています。業界の発展とともに、国民の関心がサービスの質や内容に向いてきました。今後更なる発展のため、必要不可欠です。過去の経験を教訓に、未来へ向け一人でも多くの方が安心して過ごせる施設が増えるよう、弊社も努力し続けようと思います。

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理
稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。